

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会は、スリランカと日本両国の相互理解を促すこと、スリランカ人の抱える問題の改善・解決を図ることを目的に、下記の事業を実施する。具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、スリランカよろず相談窓口事業、スリランカにおける地域振興と環境保全を図る事業、スリランカの子どもの対象とした教育振興事業、スリランカの物産の紹介と普及事業を実施する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

<ア> スリランカよろず相談窓口事業

(ア) 事業内容

- ① 昨年の日本語ボランティアツアーに参加したOさんから日本語教育調査を補助してほしいとの相談があり、高校4校を訪問した。
- ② 立命館大学のボランティア・サークル「自立のための道具の会京都」の活動を補助した。
- ③ 平成24年度に実施したスリランカ住民の健康調査の報告会を女子高校で行いたいとの依頼があり、高校の選定等の手助けをした。

(イ) 実施日時 ①② 9月 ③平成26年2月

(ウ) 実施場所 ①～③ スリランカ

(エ) 従事者の人数 ①～③ 2名 (スリランカ事務所代表インドラナダ和尚、会長大岩)

(オ) 受益対象者の範囲及び人数 ①～③ 関係者13名

(カ) 費用 ①～③ 25,000円 (内訳) 交通費 20,000円、通信費5,000円

(キ) 収益 ①～③ 25,000円 (内訳) 依頼関係者からの寄付

<イ> スリランカにおける地域振興と環境保全を図る事業

(ア) 事業内容 スバ・ランカ農園の管理維持とヤシ栽培

スバ・ランカ農園の維持管理と新たに確保した3エーカーの農地でのヤシ栽培を進め、周辺地域の環境保全に努めた。今年は、雨期に雨が降らず、水道水が確保できなかった。給水確保のため、公共の井戸水の独占使用許可を得、特殊なポンプを設置した。ヤシへの給水が常時可能となった。

(イ) 実施日時 4月～平成26年3月

(ウ) 実施場所 ブッタラマ県第10カヌワ

(エ) 従事者の人数 3名 (スリランカ事務所代表インドラナダ和尚、農夫チャングダヤ、会長大岩)

(オ) 受益対象者の範囲及び人数

スバ・ランカ協会のカシューナッツ・オーナー及び農園管理者と補助者 約190名

(カ) 費用 462,503円

(内訳) 人件費160,000円 コーディネート料60,000円、苗・資材費 42,501円、通信費 2,920円、ポンプ購入124,000円、井戸水供給 69,893円、交通費 3,189円

(キ) 収益 251,450円

(内訳)カシューナッツ販売(スリランカにて)86,450円、新規オーナー65,000円、寄付100,000円

<ウ> スリランカの子どもの対象とした教育振興事業

(ア) 事業内容

- ① インド・タミル児童の識字教育の振興
 - a) 「東南アジアに学校を造る会」(和歌山県新宮市宝珠寺)から頂いた助成金をもとに、マータラ県デニヤーヤ郡クルルガラ紅茶園の識字学級校舎を建築した。
 - b) コラウェニガマ紅茶園識字教室のといを新しく取り付け、トイレを建設した。
 - c) アジア保健研修所発刊の『紅茶園のタミル』をシンハラ語に翻訳し、シンハラ小学校に配布した。
- ② 日本語教育の振興
 - a) ガラピタマダ村アルピティヤのジャヤマガ教育センターに、サバラガムワ大学の卒業生を日本語教師として派遣し、当センターにおける日本語クラス開設を支援した。
 - b) 日本語を学ぶ大学生、生徒に和英・漢和・国語辞典を寄贈した。

(イ) 実施日時 ① a) b) 7月～11月 c) 9月～10月 ②a) 4月～平成26年3月 b) 9月～10月

(ウ) 実施場所

- ① a) b) マータラ県デニヤーヤ c) キヤーガッラ県ゴム農園近在のシンハラ学校
- ② a) キヤーガッラ県ガラピタマダ村アルピティヤ b) ラトゥナーワリー女子高校・サバラガムワ大学

(エ) 従事者の人数

- ① a) b) 4名: Y. ヴィバッシ師、ジャヤンタ氏、識字学級教師2名 c) 2名: 会長大岩、インドラナダ師
- ② a) 2名 (ジャヤマガ教育センター長チャミット氏、会長大岩) b) 1名(会長大岩)

(オ) 受益対象者の範囲及び人数

- ① a) 生徒 21名 b) 43名 c) シンハラ学校生徒約200名
- ② a) 生徒 12名 b) 学生 63名

(カ) 費用 466,934円

① 428,825円

(内訳) a) 建築資材227,134円、労賃115,772円、運送費21,552円、通信費2,920円、交通費11,350円
b) といとトイレ建築資材 31,897円 c) 翻訳料8,000円、印刷代10,200円

② 38,109円

(内訳) a) 通信費 2,920円、交通費 3,189円

b) 日本からスリランカへの輸送費 27,000円 スリランカ国内輸送費 5,000円

(キ) 収益 ① a)b)c)ともに 0円 ② a)b)ともに 0円

<エ> 日本とスリランカ両国の相互交流推進事業およびボランティア支援事業

(ア) 事業内容 スリランカ・ボランティア親善友好ツアーの実施

「シンハラ語を学んでスリランカに行こう」というツアーを企画し、インドタミルの小学校、踊りの学校、真珠日本語教育センターの生徒と交流し、文房具寄贈等のボランティア活動を行った。

(イ) 実施日時 9月29日～10月6日

(ウ) 実施場所 ニッタンプワ→ガラピタマダ村→アスラーダブラ→シーギリヤ→キャンディなど

(エ) 従事者の人数 2名(会長大岩、副会長新海)

(オ) 受益対象者の範囲及び人数 ツアー参加者 9名

(カ) 費用 2,920円 (内訳) 通信費 2,920円

(キ) 収益 0円

<オ> スリランカの物産の紹介と普及事業

(ア) 事業内容 紅茶とカシューナッツの配布(随時)

スリランカマックウッド社の紅茶とスバ・ランカ農園のカシューナッツを希望者に随時配布した。

(イ) 実施日時 4月～12月

(ウ) 実施場所 東海3県、関東、北海道

(エ) 従事者の人数 2名(会長大岩ほか理事1名)

(オ) 受益対象者の範囲及び人数 会員及びカシューナッツ・オーナー約100名

(カ) 費用 69,771円

(内訳)紅茶代金41,780円 カシューナッツ薄皮むき代4,000円、郵送費 23,991円(国内を含む)

(キ) 収益 0円

<カ> スリランカを紹介する広報啓発事業

(ア) 事業内容

① シンハラ語入門講座を開講した。

② スリランカ・カレー教室を開催した。

(イ) 実施日時 ① 4月～平成26年3月(名古屋19回、岡崎5回の計24回) ② 5月26日

(ウ) 実施場所

① 名古屋西生涯学習センター、岡崎図書館リブラ及びおおかざきニュース編集室(サロン・ドゥ・クララ)

② 名古屋東生涯学習センター

(エ) 従事者の人数

① 2名(副会長新海及び会長大岩)

② 4名(理事ジャガット及び理事廣間、会長大岩、副会長新海)

(オ) 受益対象者の範囲及び人数 ① 平均 12名 ② 参加者 14名

(カ) 費用 100,400円

① 86,400円 (内訳)施設使用料26,400円、教材印刷代金24,000円、交通費 36,000円

② 14,000円 (内訳)施設利用費 2,400円 材料費8,100円 通信費500円 交通費3,000円

(キ) 収益 100,400円

① 86,400円 (内訳)受講料 1人300円×24回×12名

② 14,000円 (内訳) 参加費用 1人1,000円

3 会議の開催に関する事項

1) 総会

ア 通常総会

(ア) 開催日時及び場所

平成26年6月1日15:00～16:30 名古屋西生涯学習センター 集会室

(イ) 議題

① 平成25年度事業報告書の承認について

② 平成25年度活動計算の承認について

③ 平成26年度事業計画について

④ スリランカ初級・シンハラ入門検定について

⑤ その他

2) 理事会

ア 第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成26年6月1日13:00～14:30 名古屋西生涯学習センター 集会室

(イ) 議題

① 平成25年度通常総会提出議案について

② その他